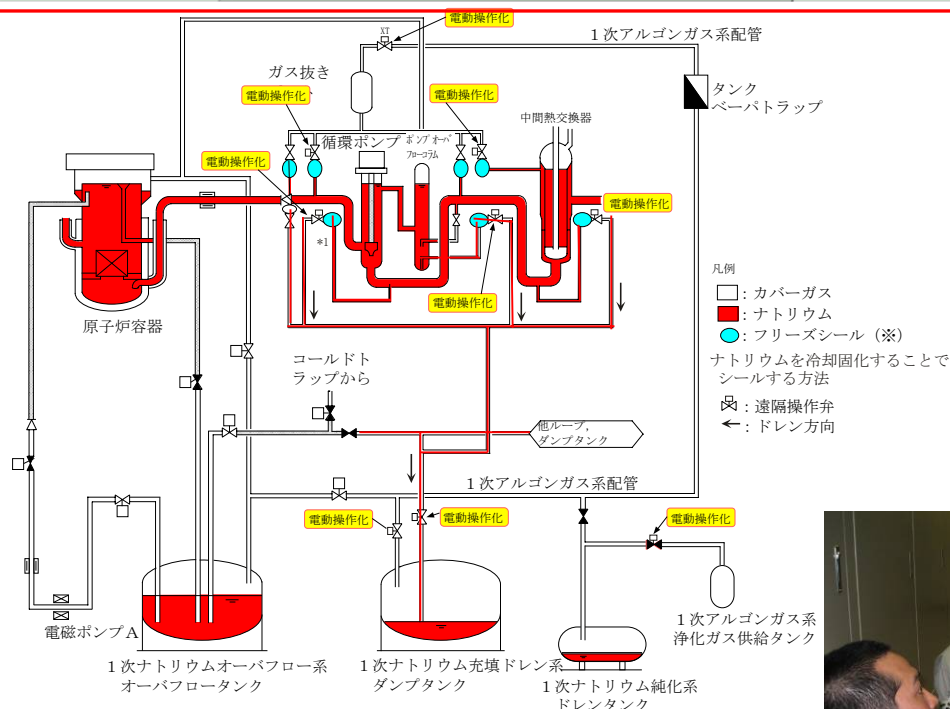


試験件名	1 次主冷却系ナトリウム漏えい対策確認試験（ドレン試験）	当該試験の速報回数	1
試験目的	窒素雰囲気中にある 1 次主冷却系設備からのナトリウムの小漏えいに対し、事故の早期終息を図る観点から、1 次冷却系のドレン弁及びベント弁等の一部について、原子炉格納容器外からの遠隔操作が可能となるよう電動化した。この試験では、中央制御室から電動化した弁を操作してナトリウムドレンができることを確認する。		
試験範囲	1 次冷却系充填ドレン系 (C, B ループ)		
主要な試験項目	試験内容	結果	実施時期
1 ナトリウムドレン試験(C ループにて実施)	運転中のナトリウム漏えいを模擬して、電動化したドレン弁、ベント弁等を用いて中央制御室からの遠隔操作によりナトリウムをドレンできることを確認する。	原子炉運転中のナトリウム漏えい時の対応手順に従い、ドレンできることを確認した。	平成 19 年 5 月 8 日～同 9 日 試験完了
2 ナトリウムドレン試験(B ループにて実施)	メンテナンス中のナトリウム漏えいを模擬して、電動化したドレン弁、ベント弁等を用いて中央制御室からの遠隔操作によりナトリウムをドレンできることを確認する。	メンテナンス中のナトリウム漏えい時の対応手順に従い、ドレンできることを確認した。	平成 19 年 5 月 10 日～同 11 日 試験完了



1 次主冷却系ナトリウム漏えい対策確認試験(ドレン試験)

(解説)ナトリウムドレンとは、ナトリウムを系統中から抜き取ることをいう。

(解説) 運転中、1 次系ナトリウムの小漏えいがあった場合は、まず原子炉を停止するとともに原子炉の冷却を優先し、原子炉の液位を保持する。次に、第 1 弁のフリーズシールを加熱し、熔融させ、電動弁を開け、ドレンを行う。



試験風景(ドレン操作)

(ドレン試験)

- ・ 1 次系のナトリウムドレン試験は、原子炉運転中及びメンテナンス中のナトリウム漏えい操作についてのそれぞれ確認を行った。今回はいずれもナトリウム温度 200℃にて実施した。
- ・ メンテナンス中の原子炉の液位(ドレン前)は、原子炉運転中の場合に比べ約 3m 低い。